

【ディスカッション】
「幼児教育アドバイザーを活用しよう」

教師の意欲を高めるアドバイザーの役割

学校法人青葉学園 青葉幼稚園長 米川 晃
広島市幼児教育アドバイザー 佐々木 尚美

平成29年度 広島市幼児教育シンポジウム
～誰もが安心して子どもを生み育て、学校教育・保育を受けさせたいと思う「まち」の実現に向けて～
平成29年11月30日（木）

1

本日お話しする内容

- 1 園の概要について
- 2 幼児教育アドバイザーの役割について
- 3 終わりに・・・

2

1 園の概要について



3

園までのアクセス



学校法人 青葉学園
青葉幼稚園
〒734-0052
広島市南区堀越3丁目13番50号
☎ 082-281-2497

4

教育目標

遊びを通して、豊かな感性を身につけ、人とかかわる力を育てる保育を目指す。



5

【遊びを通して】

子ども達は遊びの中で、考えを深め、工夫を凝らして、発明や発見をします。それと同時に、身体を鍛え、心身の調和を図り、遊びによって共同作業を覚え、友達を意識し、自分自身をも意識していくので、保育の基本は遊びと考えています。

【豊かな感性】

感性とは、人の心やもののあり方を自然に感じる力と捉えています。知識の基礎作りよりも感性の基礎作りにも力を入れています。

6

【人と関わる力】

子どもは環境から、自分の経験と比べながら自分なりのイメージを描きつつ、自分なりの遊びを創造していきます。友達の活動や表現を見たり、保育者との会話などによって、お互いに共感し合いながら、のびのびと表現し、活動し、具体的なイメージを確かなものにしていきます。友達との同じ所や違うところを見つけて、自分というものを発見しながら、自分以外の存在を意識し、友達と共感し合える活動を通して、コミュニケーションの能力を芽生えさせる必要があります。

7

【職員構成】

(H29年4月現在)

園長	主事	教諭	庶務	進行管理者
1名	1名	13名	2名	3名

【学年別園児数】

(H29年4月現在)

学年	クラス数	園児数
年長組	3クラス	76名
年中組	3クラス	69名
年少組	3クラス	55名
最年少組	1クラス	14名

【デイリープログラム等】



月	保育	降園時間	年少組		年中・年少・最年少組	
			手作り弁当	給食	手作り弁当	給食
月	全日保育	2時	給食	給食		
火	全日保育	2時	手作り弁当	給食		
水	水曜日保育	※12時30分	給食	給食	手作り弁当	
木	全日保育	2時	手作り弁当	給食		
金	全日保育	2時	給食	給食		
土	平日保育	11時				

※(例) 祭日・土曜日に当たる週の水曜日は2時降園
土曜日は降園です。

8

青葉幼稚園の子供たち



2 幼児教育アドバイザーの役割について

(I) 幼児教育アドバイザーの訪問について


ア 訪問のテーマ（視点）


- ・ 園児の遊びや学びの姿、教師の教育実践等について（①②③）
- ・ 園児が制作した作品や作品展における作品展示に係る環境面の工夫等について（④）


イ 訪問日時



- ① 平成29年1月16日（月）
- ② 平成29年1月19日（木）
- ③ 平成29年1月24日（火）
- ④ 平成29年2月 4日（土）

ウ 訪問内容と訪問成果

	訪問内容	訪問成果
1/16 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園児の自由遊び、一斉保育、昼食の様子などを通じて、園児の遊びや学びの姿や教師の教育実践を参観いただいた。 ○ 自由遊びや一斉保育について個々の園児の実態に合わせ支援を行っていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の遊びや学びの姿から教師の教育実践等について助言をいただくために、青葉幼稚園での教育・保育に対する理念等をしっかり理解いただいた。 ・ 10:00からの自由遊びでは園児と精力的にかかわっていただき、園児達との関係性ができたことで、本日の教師の保育実践に良い影響を与えることができた。

	訪問内容	訪問成果
1/19 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園児の自由遊び、一斉保育、昼食の様子などを通じて、園児の遊びや学びの姿や教師の教育実践を参観いただき、助言等を受けました。 ○ 園児の作品製作の場面では個々の園児の実態に合わせ支援を行っていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の教師の教育実践について、細やかに評価をしていただいたことで、教師の教育へのモチベーションが向上した。 ・ 経験豊かなアドバイザーからの助言は、教師達が受け入れやすいものであった。 ・ 教師達とアドバイザーとの間に関係性が生まれたことから、教育・保育に係る助言だけでなく、教師の日常的な相談にも対応していただける環境が整ったように思う。

	訪問内容	訪問成果
1/24 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園児の自由遊び、一斉保育、昼食の様子などを通じて、園児の遊びや学びの姿や教師の教育実践を参観いただき、助言等を受けました。 ○ 園児の作品製作の場面では個々の園児の実態に合わせ支援を行っていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日で3回目の訪問であることから、園児達はもちろん、教師達の表情も自然に笑顔がこぼれていた。これまでの保育に対するアドバイスや評価が教師の自信にも繋がっているようである。園児、教師ともに楽しみながら保育が出来ていた。 ・ 個々の教師の教育実践について、細やかに評価をしていただいたことで、教師の教育へのモチベーションが更に向上した。

	訪問内容	訪問成果
2/4 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園児が制作した作品を観ていただくとともに、教師による作品展示に係る環境面での工夫について評価・助言等を受けました。  	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の作品制作時から、観察していただいたことで、園児の姿を思い描きながら、個々の作品制作についての頑張りを評価していただいた。 ・ 園児作品の仕上げに係る教師の支援について、大きな評価をいただいた。 ・ 作品の展示方法等について、教師の工夫点などを具体的にほめていただいたことで、教師自身が自信をもち、意欲を高めることができた。

(2) 幼児教育アドバイザー訪問の様子

広島市広報番組

ミチル殿のこれ見て一件落着

平成29年2月5日(日) 21:54~21:58 放送

17



広島市における「幼児教育アドバイザー」の役割や姿

幼児教育アドバイザーは研修講師等の役割にあわせ、教師や保育士等の保育についての相談や悩みへの対応、園の良さ(強み)を今後更に伸ばしていくことに焦点をあてたアドバイスを行うなど、各園の変容を評価し、教師や保育士等の教育・保育に対する意欲が高まるような助言を行う。

19

3 終わりに・・・

20

平成29年度
広島市幼児教育シンポジウム



2017/ **広島市立落合東幼稚園**

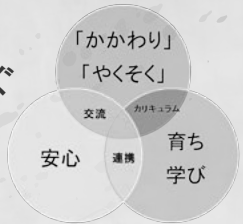
川崎 文子



(1) 子どもをつなぐ

(2) 組織をつなぐ

(3) カリキュラム・事例でつなぐ





本園の課題

- 幼保小連携において広島市立幼稚園の拠点園としての役割

広島県の幼保小接続カリキュラム研究開発事業を受けて実践を重ねた。今年度はそれを検証していく一年間である。

幼児教育アドバイザーを招聘

- 年間を通して継続して
- 同じアドバイザーをお願いして
- 合同研修会を実施して



年間を通して継続して

- 見通しをもって日時が決められる
- 研修の進め方や方向性に関してアドバイスがもらえる

同じアドバイザーをお願いをして

- 信頼関係に基づき安心感と教員の育ち
- 内容の多様性
 - 教育の根幹的なもの
 - 効果的なプレゼンテーション
 - 子供たちへの絵本の読み聞かせ
 - ほっと一息

合同研修会を実施して

幼保小連携に関する実践研究に関する内容を今年度新たに研究推進を始めた幼稚園、小学校に伝え、ともに連携のあり方を考える。

合同研修会を実施して

- 参加者

落合保育園	園長	5歳児担任
みどりの森保育園	園長	
基町幼稚園	園長	5歳児担任
基町小学校	幼保小連携担当教員	
川内幼稚園	園長	5歳児担任
川内小学校	幼保小連携担当教員	
落合東幼稚園	園長	4歳児5歳児担任
行政関係者	6名	
幼児教育	井原 貴子	アドバイザー
アドバイザー	宮崎 礼子	アドバイザー
	高木 淨美	アドバイザー



アドバイザー招聘をして

- 客観的なまなざしで園の様子、
幼児の様子を見てもらえる。
- 職種の異なる方とのつながりを
支えてもらえる。
- 先生たちが元気になる。
- 園内研修が活性化する。